

- 1 県立・私立高校の英語教育・国際交流
の取組状況
- 2 S S H (Super Science Highschool)
指定状況
- 3 大学における取組状況
(兵庫県立大学・甲南大学)



本県における英語教育・国際交流の取組状況①



1 英語教育の充実

	部局	事業名	開始年度	R5当初 予算額 (千円)	対象者 実施校	事業内容	事業実績	
							R1(コナ前)	R4
1	教委	外国語指導助手ALTの配置	S62	669,302 (一部国際 交流基金)	県立高校	全県立高校等136校に配置及 び訪問指導(国際系学科設置校 等20校に重点配置)	132名配置	132名配置
2	教委	高大接続改革推進事業 (国際力強化モデル校事業)	R元	1,014 (全額一般)	県立 国際高校	兵庫県立大学と連携したプロ ジェクトセミナーや多文化共 生セミナーの実施	セミナー等 実施回数 5回	セミナー等 実施回数 11回
3	教委	ネイティブ教員配置	R3	—	県立高校 (STEAM教育 モデル校等)	探究学習における英語での発 表や論文作成、海外との共同 研究の指導等を実施	—	4校に配置 (加古川東,国際, 兵庫,豊岡)
4	教委	サイエンスカンファレンス	H27	—	県内高校 (SSH指定校 16校等)	英語による発表と質疑応答を 通じた、科学技術分野におけ る英語運用能力の向上	R1発表者 212名	R4発表者 112名
5	教委	イングリッシュ・キャンプ (各校でこれまでから実施)	—	—	県立高校 (生徒)	各校配置のALTを活用し、英語で のディベートやプレゼンテーショ ン等を実施(基本日帰り1日間)	32校	25校

本県における英語教育・国際交流の取組状況②

2 国際交流の推進

①生徒向け

- ア) 中国・広東省等との高校生交流（隔年で派遣・受入）
- イ) 海外工業高校生徒（中国・海南省）との技術交流（隔年で派遣・受入）
- ウ) 海外研修（オフライン）
 - ・各県立高校による海外研修旅行
 - ・海外からの生徒受入
- エ) 海外研修（オンライン）
 - ・ウェブ会議システムやバーチャルオフィス等によるオンライン交流

②教員向け

- ア) 西オーストラリア州との教員交流
- イ) ワシントン州への教員派遣
- ウ) タイ王国との教育関係者交流

③学校・団体向け

- ア) 国際交流員CIR（米・豪・中・韓）の市町国際協会や県内教育機関への派遣
- イ) 訪日教育旅行の誘致・学校交流の支援
- ウ) オックスブリッジ英語サマーキャンプ
 - ・オックスフォード・ケブリッジ大の学生を高校等に派遣
 - ・各校自主プログラムによる授業・交流を実施

3 留学の促進（高校生留学促進事業）

①留学フェアの実施

- ・講演・体験発表等による情報提供
- ・斡旋団体との個別相談の場の設置

②長期派遣（県単）

- ・対象：原則1年間の留学
- ・給付額：1人につき40万円
※通常30万円→R5に限り10万円増
- ・人数：12人（県立・私学とも対象）

③短期派遣（国庫）

- ・対象：原則10日以上1ヶ月未満の留学
- ・給付額：1人につき6万円
- ・人数：220人（県立・私学とも対象）

④はじめて留学（県単）

- ・対象：原則7日以上1ヶ月未満の留学
- ・給付額：対象経費の2/3（上限20万円）
※所得要件あり
※③短期派遣との併用可
- ・人数：60人（県立・私学とも対象）



私学における英語教育・国際交流の取組状況

私立高等学校における英語教育の実施状況

①学習支援アプリの導入状況

導入校 **34 / 51** 校(66.7%)

【主な導入アプリ】

スタディサプリ	13 校
Webilo	4 校

※その他Monoxer(3校)、Classi(3校)、ELST(2校)、English Central(2校)、ABCEED、ターゲットの友等、各学校の判断で選定したものを導入

②英語合宿実施状況

実施校 **19 / 51** 校(37.3%)

- ・大半の学校が夏休み、冬休み、春休みの長期休業期間を活用して実施。
- ・実施期間は3～14日

③英語によるプレゼンテーション・スピーチ大会実施状況

実施校 **21 / 51** 校(41.2%)

- ・中高一貫校では中学から実施している学校多数
- ・実施回数：年1回が多数

④ALT(外国人指導助手) 配置状況

配置校 **42 / 51** 校(82.4%)

- ・1校あたり1人～最大6人配置
- ・ALTを置かずネイティブスピーカーの教員を専任教員として配置する学校も複数校あり

⑤海外の学校との交流(訪問・受入) 状況

訪問 **24 / 51** 校(47.1%)

受入 **20 / 51** 校(39.2%)

- ・相手国はオーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、イギリスの他、アイルランド、フィンランド、シガポール、韓国等、英語圏に限らず様々。

⑥他校等との連携

- ・海外校との姉妹校提携
- ・他校との合同授業
- ・他校合同のスピーチコンテスト
- ・高大連携(オンラインや訪問による交流)
- ・海外の11私学が加盟する学術シンポジウムに参加

⑦その他特色ある取組

- ・即興型英語ディベート(PDA)
- ・イマージョン教育
- ・GTEC、英検の受験
- ・英語プログラミング
- ・オンライン英会話レッスン
- ・海外語学研修

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定状況

【趣旨】

高等学校において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続のあり方について大学との共同研究や国際性を育むための取組を推進する。また、創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施する。

【指定校数 (R5)】 兵庫県16校；県立12校、市立2校、私立1校、国立1校 (全国218校)

	学校名	指定校 番号	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
			2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2023	2024	2025
1	神戸高等学校	0536			I期①	②	③	(④)	II期①	②	③	④	⑤	III期①	②	③	④	⑤	IV期①	②	③	④	⑤	V期①	②	③	
	科学技術人材育成重点校									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
2	尼崎小田高等学校	0316				I期①	②	③	④	⑤	II期①	②	③	④	⑤	III期①	②	③	④	⑤	(⑥)	IV期①	②		④	⑤	
	科学技術人材育成重点校								○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	加古川東高等学校	0435				I期①	②	③	④	⑤	(⑥)	II期①	②	③	④	⑤	III期①	②	③	④	⑤	IV期①	②	③	④	⑤	
4	豊岡高等学校	0437				I期①	②	③	④	⑤	(⑥)	II期①	②	③	④	⑤	III期①	②	③	④	⑤	IV期①	②	③	④	⑤	
5	三田祥雲館高等学校	0436							I期①	②	③	④	⑤	(⑥)			II期①	②	③	④	⑤	III期①	②	③	④	⑤	
6	明石北高等学校	0213								I期①	②	③	④	⑤	II期①	②	③	④	⑤	III期①	②	③	④	⑤			
7	龍野高等学校	0537											I期①	②	③	④	⑤	II期①	②	③	④	⑤	III期①	②	③	④	
8	宝塚北高等学校	3125																	I期①	②	③	④	⑤				
9	小野高等学校	3126																	I期①	②	③	④	⑤				
10	姫路東高等学校	0215																		I期①	②	③	④	⑤			
11	姫路西高等学校	0214																		I期①	②	③	④	⑤			
12	長田高等学校	0438																				I期①	②	③	④	⑤	

指定校の数 1 2 4 4 4 5 6 6 6 7 7 6 6 7 7 9 11 11 12 12

市立

										H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	六甲アイランド高等学校									I期①	②	③	④	⑤	(⑥)	II期①	②	③	④	⑤	III期①	②	③	④	⑤
2	西宮市立西宮高等学校																					I期①	②	③	④

指定校の数 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2

私立

						H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	武庫川女子大学附属高等学校					I期①	②	③	④	⑤	(⑥)	II期①	②	③	④	⑤	(⑥)	(⑦)	III期①	②	③	④	⑤			

指定校の数 1

国立

																				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	神戸大学附属中等教育学校																			I期①	②	③	④	⑤		

指定校の数 1 1 1 1

参考

		H14	H15	H16	H17	H18																				
	県立大学附属高等学校	①	②	③	(④)	(⑤)																				
	県内SSH指定校の数	1	1	2	3	6	5	5	6	7	8	8	9	9	8	8	9	9	11	14	14	15	16			

中期計画	グローバル社会で活躍できる人材の育成 【小項目1（1）教育：ア】 <ul style="list-style-type: none"> ■ 全学的なグローバル教育の推進【1】 ■ ポストコロナを見据えた国際交流の構築と高度外国人材の育成【2】 	自己評価 b
------	--	------------------

令和元～4年度の主な実績

国際商経学部グローバルビジネスコース（GBC）

- 平成31年4月、経済学部と経営学部を再編し開設した国際商経学部にて、**すべての科目を英語で学び経済学の学位を取得**するグローバルビジネスコースを設置
- 令和2年度に文部科学省の「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に**公立大学で唯一採択**。優秀な外国人留学生の受入に努めた。【R元～4：約150名受入（20以上の国・地域）】
- コロナ禍において、入国制限により来日できない留学生に対してオンライン授業を実施。教育の質を確保するとともに、グループワークやディスカッションなどの工夫を凝らし、授業への積極的な参加を促進

副専攻 グローバルリーダー教育プログラム（GLEP）

- 各学部で学ぶ専門知識に加え、実践的な英語コミュニケーション能力やグローバルリーダーとしての素養・能力を有する人材育成を目指し、副専攻として引き続き開講【R元～4履修者計：約250名】
- **コミュニケーション力の伸長とリーダーシップ力の育成を重視**したプログラムへと見直しを実施（R2）

国際交流センターを中心とした全学的な取組など

- 国際交流センターにおいて、**海外大学とICTを活用した交流プログラムの実施**など、全学的に国際交流を推進【カンバセーションパートナー・プログラム参加延べ人数（R2～4）：約450名】
- 学生の留学先の確保、国際的なネットワークの構築を図るため、**海外大学との新たな学術交流協定の締結**を促進【H30：19大学（11か国・地域）→R4：36大学（16か国・地域）、17大学増】

- 今後の取組予定**
- ICTを活用し、海外大学との間で授業科目の連携、学位プログラムの連携を検討
 - 全学において優秀かつ多様な外国人留学生の受入を促進

中期計画に定める評価指標の達成状況

■ **英語で行われている講座数**（全学）（講座）

	R元	R2	R3	R4
実績	—	—	132	180
目標	令和6年度：150講座			

・令和4年度、中期計画変更で新たに目標として設定
 ・令和4年度実績において**目標を達成**

■ **国際学会で発表した学生数**（全学）（人）

	R元	R2	R3	R4
実績	—	—	58	116
目標	各年度：80人			


・令和4年度、中期計画変更で新たに目標として設定
 ・令和4年度実績において**目標を達成**

■ **外国人教員比率**（%）

	R元	R2	R3	R4
県立大	2.9	2.9	3.1	3.4
目標	令和6年度：5%			

・残り2年間で9人（R5.4.1教員数で算出）。引き続き取組を推進するが、目標達成は困難な見込

【Topics】大学ランキング2024（朝日新聞出版）
 公立大学ランキング
 国際化「外国人留学生（学部）」**全国1位**



国際化			
外国人留学生(学部)		外国人教員	
大学	人	大学	人
1 兵庫県立大	137	1 会津大	39
2 周南公立大	90	2 大阪公立大	37
3 東京都立大	87	3 北九州市立大	32
4 北九州市立大	76	4 国際教養大	32
5 高崎経済大	75	5 東京都立大	30
6 福岡女子大	67	6 愛知県立大	18
7 大阪市立大	55	7 長崎県立大	18
8 静岡県立大	51	8 名古屋市立大	15
9 横浜市立大	50	9 新潟県立大	15
10 会津大	46	10 兵庫県立大	15
11 下関市立大	42	11 島根県立大	13
12 都留文科大	41	12 秋田県立大	12
13 大阪府立大	40	13 神戸市外国語大	12



写真：リーズ大学(イギリス)

KIT



Konan International Times

～甲南生へ外国留学・国際交流に関する情報を
随時発信していきます～

Vol.5

2023.9

2023年度前期の活動報告を
お届けします。

TOPICS

- 👉 LOFTアクティビティの参加者
8千人超え！
- 👉 前期に139名の学生が海外渡航！
- 👉 エリアスタディーズ夏は2コース開講！
- 👉 前期に86名の留学生を受入れ！
- 👉 Short-term Programの再開！
- 👉 220名の甲南生と留学生が交流！
- 👉 グローバルイベントの実施
- 👉 メガネリサイクルプロジェクト活動状況
- 👉 サーティフィケートに170名が
エントリー！
- 👉 あとがき

KIEC Konan International Exchange Center



甲南大学 国際交流センター (岡本キャンパス25号1階)
Tel.078-452-1041 Email:kiec@adm.konan-u.ac.jp

LOFTアクティビティの参加者8千人超え！

2023年度前期のLOFTアクティビティについては、既存のEvent、Visit、Visit Plus、SDGs、Taskの5つに新しくVRを加えて実施しました。前期で、497回のアクティビティを実施し、のべ8,596名の学生が参加しました。実施にあたっては、47名のLOFTアシスタント(先輩学生)が協力してくれ、アシスタントに対する満足度は、なんと！98%(n=8,596人)。グローバルゾーンは連日、活気に満ち溢れていました。学部学年に関係なく参加できるので、後期からのアクティビティにもぜひ参加してください！

■前期

- ・アクティビティ実施回数 497回(すべて対面)
- ・参加学生数 のべ8,596名(すべて対面)

■アクティビティの種類

- ・EVENT (学生スタッフによる英語プレゼンテーション)
- ・VISIT (英語を使ってゲームや会話を楽しむ)
- ・VISIT Plus (もっと会話を楽しむ) *2022年度より新たに実施！
- ・SDGs (SDGsについて先生や学生スタッフと英語で考える)
- ・TASK (ワークシートから好きなものを選んで取り組む)
- ・VR (VR空間で英語の練習をする)



エリアスタディーズ 夏は2コース開講！

短期留学体験型集中科目であるエリアスタディーズについて、2023年度夏休みは、米国、シンガポールの2コースを開講しました。(計47名の学生が参加)

- ・米国フォートルイス大学コース 25名
- ・シンガポールコース(理系) 22名*

*大学院の「ナノバイオ国際演習科目」履修者等6名含む。

2023年度春休み(2024年2～3月)には、次の3コースを開講する予定です。本学の教職員が引率しますので、海外が初めての学生でも安心して渡航することができます。留学のファーストステップとして、ぜひ、チャレンジしてください。

- ・米国(ハワイ) 2024年2月26日(月)～3月6日(水)
- ・マルタ共和国 2024年2月17日(土)～2月29日(木)
- ・米国(シリコンバレー) 2024年2月～3月(11日間程度)

※いずれも日程は予定です。詳細は説明会等で確認してください。

Konan University
LOFT
Global Zone Porte

Activity



Visit



Visit Plus



VR



SDGs



Task



Event

前期に139名の学生が海外渡航！

2023年度前期に、中長期留学で21名、短期プログラムで118名、計139名の学生が海外渡航による留学をしました。なお、オンライン留学に6名の学生が参加を予定していましたが、各海外協定校とも最少催行人数が集まらず、残念ながら不開講となりました。

■中長期留学(計21名)

- ・奨励留学(前期出発) 18名
- ・語学プラス交換留学(前期出発) 2名(*大学院生1名含む)
- ・交換留学(前期出発) 1名

■エリアスタディーズ(短期留学体験型集中科目)(計47名)

- ・米国フォートルイス大学コース 25名
- ・シンガポールコース(理系) 22名(*大学院の履修者等6名含む)

■海外語学講座(短期語学プログラム)(計23名)

- ・アメリカ・ドミニカン大学 2名
- ・イギリス・リーズ大学 6名
- ・カナダ・ビクトリア大学 3名
- ・韓国・漢陽大学 12名

■CUBEフィールドワーク(計43名)

- ・海外ボランティア(計5名)

シンガポールコース



米国フォートルイス大学コース

前期に86名の留学生を受入れ！

前期にアジア（韓国・台湾）からの一般交換留学生、昨年に引き続きイタリアのトリノ大学からの交換留学生（大学院修士課程）を受け入れ、他にはShort-term Programとして米国ピッツバーグ大学からの短期研修、夏期日本語集中講座に参加する留学生を受け入れました。また、2023年4月に私費外国人留学生の新入生12名を学部・研究科で受け入れました。

一方、昨年9月、今年1月より受け入れを行っていた2022-2023年度Year-in-Japan Program (YIJ) は5月に修了式を実施しました。そして、次年度2023-2024年度YIJに参加する留学生25名は9月初旬に来日しました。

- 一般交換留学生の受入（アジア圏の協定校からの受入） 4名
- COIL+KOBÉ Program（米国ピッツバーグ大学からの受入） 10名
- Pitt in Japan Program（米国ピッツバーグ大学からの受入） 10名
- 夏期日本語集中講座参加学生の受入（2023年6月～6週間） 24名
- トリノ大学からの交換留学生の受入（2023年4月～7月） 1名
- 私費外国人留学生（2023年4月入学） 12名
- 2023-2024年度Year-in-Japan Programの受入、25名



夏期日本語集中講座



Pitt in Japan Program



一般交換留学生



2023-2024年度Year-in-Japan Program 留学生

Short-term Programの再開！

新型コロナウイルスの影響により、受け入れが止まっていたShort-term Programについて、前期には新規プログラムとしてCOIL+KOBÉ Programを開催するとともに、6月にはマネジメント創造学部にて、Pitt in Japan Programを4年ぶりに再開しました。

■ **COIL+KOBÉ Program 10名**
米国ピッツバーグ大学より、10名の留学生を5月19日～30日まで、受け入れました。滞在中は半生記念セミナーハウスに宿泊し、週末にはボランティア学生と白川台キャンパスで交流を深めました。また、本プログラムは来日前にCOILとしてオンラインで甲南生と交流していたことから、来日後、スムーズに交流することができました。

■ **Pitt in Japan Program 10名**
マネジメント創造学部にて、4年振りにプログラムを再開し、6月5日～7月9日までの5週間、10名の留学生を受け入れました。

後期には、インドネシア教育大学、米国ウィーバー州立大学からの学生を短期で受け入れる予定です。

220名の甲南生と留学生が交流！

前期において、甲南生と留学生の対面での交流が活発に行われました。のべ220名の甲南生と留学生が交流しました。

- **あじ友プログラム（アジアからの留学生との交流）**
-留学生4名、甲南生10名 計14名参加（4月に実施）
-留学生6名、甲南生15名 計21名参加（9月に実施）
- **Tomodachiプログラム（夏期日本語集中講座の留学生との交流）**
-留学生24名、甲南生48名 計72名参加（6月に実施）
- **meet & greet（夏期日本語集中講座の留学生との交流）**
-留学生9名、甲南生32名 計41名参加（6月に実施）
- **Tomodachiプログラム（Year-in-Japan Programの留学生との交流）**
-留学生25名、甲南生47名 計72名参加（9月に実施）

後期には、まなともプログラム（日本語の授業内での交流）、ランゲージパートナー（お互いの言語を教えあうプログラム）、ジョイントセミナー（ジャパンスタディーズ科目の授業内での交流）を実施します。



Tomodachiプログラム（6月-9月）

グローバル★ツナガルCafé

「元CA採用担当に聞く！
接遇とグローバルコミュニケーションの関係とは？」



メガネリサイクルプロジェクト

メガネリサイクルプロジェクトの活動状況

メガネリサイクルプロジェクトでは、4月の勧誘活動の結果、これまで3名で活動していたところ、新規9名が加わり、現在12名で活動中です。今年度は学内に回収箱を設置したほか、近隣の病院や施設に回収箱の設置をお願いする活動を計画しています。

サーティフィケートに170名がエントリー！

前期において、170名の学生がグローバルサーティフィケートにエントリーしました。2022年度は年間で221名のエントリーがあり、1級に8名、2級に7名、3級に24名が認定されました。今年度も甲南生の国際交流活動を支援し、その活動を認定しますので、エントリーがまだの甲南生はまずはエントリーをしてください。みなさんの国際交流活動を応援します！

グローバルイベントの実施

■【世界で活躍するゲストから話を聞こう！】第1回グローバルイベント
グローバル★ツナガルCafé
2023年6月28日実施（34名参加）
「元CA採用担当に聞く！接遇とグローバルコミュニケーションの関係とは！」

■後期には、Professor's Café、グローバルキャリアイベントを開催します。
・Professor's Café × 留学経験学生 対談
教員が自身の海外留学経験について語るトークイベントです。
留学に興味のある方はぜひご参加ください！
【日時】10/12(木) 12:20-12:50 [参加申込みはこちら](#)

・グローバルキャリアイベント（GCAD: Global Career Development）
外部講師をお招きし、グローバルキャリアについて英語で講演を行います。
第1部：10/25(水) グローバルな組織とは？
第2部：11/15(水) グローバルキャリアを目指す上で英語の他に大切なこと
第3部：12/13(水) 国連とグローバルな諸問題について
※いずれも14:40-16:10開催。事前申込み制。詳細はHP等を確認ください。
【場所】Global Connecting Passage（岡本キャンパス2号館3階）



—あなたの頑張りをおカタチする制度—
就職活動でのアピールポイントにも！
KONANグローバルサーティフィケートとは、文化の違いを理解し、語学力・コミュニケーション能力を兼ね備えた学生を「グローバル人材」として大学が公式に評価し、認証する制度です。



グローバルサーティフィケート公式LINEアカウント
まずはLINE登録してエントリーを完了させよう！
ポイント対象イベントも随時お知らせします！



国際交流センターの最新情報はこちらから！

国際交流センター 公式Instagram

学内イベントや、海外協定校、留学中の生活など幅広く紹介しています！ぜひフォローしてください！



公式LINEアカウント



国際交流センター
留学生との交流プログラムや最新の留学情報をキャッチしよう！



グローバルゾーンLOFT
LOFTアクティビティのスケジュールなどをタイムリーにゲットしよう！

あとがき

上記活動のほか、以下のとおり新規協定を締結、及び奨励金制度を新設しました。

- インドネシア教育大学と全学的な学生交流に関する協定を締結。（2023年5月）
- デュークUS医科大学とエアスタディーズに関する協定を締結。（2023年8月）
- 神戸国際コミュニケーションセンターと地域の国際交流・多文化共生の推進などを連携して実施するために包括連携協定を締結。（2023年8月）
- アジア力交換・派遣留学奨励金の新設（2023年6月）

国際交流センターでは段階別国際力養成プログラム（HOP,STEP,JUMP）のもと、学生ひとりひとりのニーズにあったFITな留学活動（リユーク）を手厚く、親身に支援しますので、留学や国際交流に興味を持った人は、国際交流センターの窓口までお気軽にご相談に来てください。お待ちしております！